

がくしゅうかだい（小学校1年生）



【ここ】

〈学習内容〉

◆「たのしいな、ことばあそび」をがくしゅうします。

- (1) きょうかしよ 102^{ページ}をみて、かくれていることばをみつけましょう。
- (2) たて、よこ、ななめでみつけて、みつけたら、ことばのじゅんばんかわかるように、やじるしであらわしましょう。（ひともじのことばもあります）
- (3) ワークシートに、じぶんでもつくってみましょう。

い	ち	ねん
ぬ	た	こお
あ	り	（れい）
ひ	と	

◆「やくそく」をがくしゅうします。

- (1) よむまえに、「やくそく」というだいめいから、どんなおはなしなのか、そうぞうしてみましょう。

おぼえよう「だいめい」…さくひんのなまえ 「さくしゃ」おはなしをつくった人

- (2) きょうかしよ 104～111 ページまでよんでみましょう。
 - ①だれがでてきたか、かんがえます。あおむしはぜんぶで、なんびきでできましたか。ノートやとりくみシートにかきましょう。
 - ②あおむしいがいに、だれがでてきましたか。ノートやとりくみシートにかきましょう。

※おはなしのなかで、あおむしいがいに、ひとのようにはなしているものをさがしましょう。
- (3) おはなしにでてきたやくになりきっておんどくをします。

〈れんしゅう〉

105 ページのさいごの「 」のぶんのよみかたをかんがえます。このときのあおむしは、①から③のどのようすにちかいですか。

①おこっている ②わらっている ③かなしんでいる

あおむしのようすに合わせて、「 」の文をよんでみましょう。

れんしゅうをいかして、やくになりきっておんどくをします。①から④のばめんからえらんで、ちょうせんしてみましょう。

- ①104～105 ページ、きいろあおむしのばめん
- ②105～106 ページ、きいろとももいろのあおむしのばめん
- ③106 ページから、107 ページ7ぎょうめ、3びきのけんかのばめん
- ④107 ページ8ぎょうめから、110 ページ、3びきと木のばめん

◆111 ページのかきじゅんをたいせつにし、「木」をかいてみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「たのしいな ことばあそび」では、文字盤から縦、横、斜めで言葉を見付けることを通して、語彙を増やすことを大切にしていきます。お子さんが自分で作ることもお勧めします。
- ・「やくそく」では、場面の様子や登場人物の行動など、おおまかに物語を捉えることが大切です。登場人物になりきって読むために、会話文（「 」）の読み方を考えたり、挿絵から登場人物の様子を考えたりしている時は、大いに認めてあげてください。

たのしいな、ことばあそびワークシート

なまえ（ ）

ことばのかくれる、ことばかくれんぼをつくってみましょう。

レベル1

レベル2

＜レベル1 ことばかくれんぼをつくるヒント＞

- ① 2もじから3もじのことばをかながえます。
【れい】 2もじ…ねこ 3もじ…くるま など
- ② ますのなかに、かながえたことばをかきます。
はじめてかくときは、たてがきにするか、よこがきにするかを、じぶんできめます。

ね		
こ		

- ③ かいたことばのとなりのますや、ななめのますで、つながることばがないかをかながえます。

ね		
こ		

「ね」のつく2もじか3もじのことばを、よこがきでかくことができるか、かながえてみます。

- ④ ことばがおもいつかないときは、ひらがなをじゆうにいれます。

ね	ず	み
こ	あ	

つながることばがおもいつかないときは、ひらがなをひとつかながえてかきます。

※いれたひらがなが、たて、よこ、ななめによんだときに、いみのあることばになることがあります。ひらがなをいれたら、たて、よこ、ななめによんで、たしかめてみましょう。